令和８年度庄原市特別支援教育支援員・学校司書研修会

＜令和８年４月３日（金）　庄原市総合体育館　会議室＞

【研修の目的】

〇庄原市職員としての服務規律について理解する。
〇特別支援教育支援員は、研修を通して資質の向上を図るとともに、児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階に応じたきめ細やかな指導や必要な支援の充実を図る。
〇学校司書は、学校図書館の活用について研修を行うことにより、資質を向上させ児童生徒の読書活動の充実を図る。

【講話】「服務規律について」

庄原市教育委員会　教育部　教育指導課　学事係　管理主事　池田　直樹

◆公務員及び教職員として、法令法規を遵守して勤務することについて、法令に基づき確認した。
◆不祥事防止に関わり、事例を挙げて協議を行った。

◇「参加者の振り返り」より
・当事者意識を常にもち、報告・連絡・相談をするよう心がける。
・「これくらいは大丈夫」と勝手に判断することなく、自分の行動には責任をもっていきたいと思う。

【講話・協議】「特別支援教育支援員について」（対象：特別支援教育支援員）

庄原市教育委員会　教育部　教育指導課　指導係　指導主事　福原　理恵

◆特別支援教育の理念や支援員としての役割、心構えについて確認した。効果的な支援を行うためにも、個別の指導計画等を確認するとともに、担任との連携を図る必要がある。
◆今後の支援の参考となるよう、日頃の支援において留意していること等について、各校の実践を支援員同士で交流した。

◇「参加者の振り返り」より
・子供たちの小さい進歩や成長を見届けていきたいと思う。担任の先生との連携も含めて、学校のチームの一員として行動していきたい。
・先回りをして支援するのではなく、一人一人の自立・成長につながるような支援を行っていきたい。

【講話・協議】「学校司書について」（対象：学校司書）

庄原市教育委員会　教育部　教育指導課　指導係　指導主事　延近　恵

◆学校図書館の機能や、学校司書の法的位置付けを確認するとともに、学校司書に求められる資質・能力について確認した。
◆「庄原市子供の読書活動推進計画（第四次）」の最終年度であることを踏まえ、不読率を下げるための取組について協議した。

◇「参加者の振り返り」より
・庄原市としての目標や学校司書としての職務を確認し、自分がすべきことを改めて考える指標となった。
・学校と家庭が連携した読書習慣形成の取組ができるよう意識して働きかけをしていきたい。
・一人一人の児童生徒と本を通して交流し、本が好きな子を増やしていくことに力を注ぎたい。